

1. 設計条件の確認

事 項	要 点	備 考																					
1-4 設計条件のとりまとめ	<p>安定解析を実施するための条件を表 1-12 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 1-12 安定解析の条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項 目</th> <th style="width: 35%;">大滝地区</th> <th style="width: 35%;">迫地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・解析代表断面</td> <td>No.3 測線 (前面すべり)</td> <td>No.3' 測線 (下部すべり)</td> </tr> <tr> <td>・解析手法</td> <td colspan="2">「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p129 のスライス法 (簡便法) による。水位の扱いは、“基準水面法” による。</td> </tr> <tr> <td>・単位体積重量*</td> <td>$\gamma = 21 \text{ kN/m}^3$</td> <td>$\gamma = 21 \text{ kN/m}^3$、崖錐 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$</td> </tr> <tr> <td>・すべり面の土質強度定数</td> <td>$C=25\text{kN/m}$, $\phi = 17.4^\circ$</td> <td>$C=25\text{kN/m}$, $\phi = 29.2^\circ$</td> </tr> <tr> <td>・地下水位</td> <td colspan="2">すべり面より上位に地下水はないものと仮定する (「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p138 の安全側の判断)。</td> </tr> <tr> <td>・間隙水圧の残留率 (現状)</td> <td>25 %</td> <td>5 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※単位体積重量は、「大滝ダム貯水池斜面再評価検討委員会 第3回委員会」資料による。</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">図 1-5 残留間隙水圧の求め方</p> </div>	項 目	大滝地区	迫地区	・解析代表断面	No.3 測線 (前面すべり)	No.3' 測線 (下部すべり)	・解析手法	「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p129 のスライス法 (簡便法) による。水位の扱いは、“基準水面法” による。		・単位体積重量*	$\gamma = 21 \text{ kN/m}^3$	$\gamma = 21 \text{ kN/m}^3$ 、崖錐 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$	・すべり面の土質強度定数	$C=25\text{kN/m}$, $\phi = 17.4^\circ$	$C=25\text{kN/m}$, $\phi = 29.2^\circ$	・地下水位	すべり面より上位に地下水はないものと仮定する (「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p138 の安全側の判断)。		・間隙水圧の残留率 (現状)	25 %	5 %	
項 目	大滝地区	迫地区																					
・解析代表断面	No.3 測線 (前面すべり)	No.3' 測線 (下部すべり)																					
・解析手法	「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p129 のスライス法 (簡便法) による。水位の扱いは、“基準水面法” による。																						
・単位体積重量*	$\gamma = 21 \text{ kN/m}^3$	$\gamma = 21 \text{ kN/m}^3$ 、崖錐 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$																					
・すべり面の土質強度定数	$C=25\text{kN/m}$, $\phi = 17.4^\circ$	$C=25\text{kN/m}$, $\phi = 29.2^\circ$																					
・地下水位	すべり面より上位に地下水はないものと仮定する (「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p138 の安全側の判断)。																						
・間隙水圧の残留率 (現状)	25 %	5 %																					